

会 議 録

第 1 1 回定例会

開会 平成 2 4 年 9 月 2 8 日

教育委員会会議録

1 開 会 平成24年9月28日 午前10時00分

2 閉 会 平成24年9月28日 午前11時42分

3 出席委員

委員長	佐藤 紘子
委員	水口 艶子
委員	西池 氏裕
委員	筒井 直典
委員	西 泰宏
委員(教育長)	佐野 義行

4 出席者

副 教 育 長	原内 司
教 育 次 長	尾崎 好秋
教 育 次 長	高橋 博義
コンプライアンス推進室長	杜 義治
教 職 員 課 長	松山 隆博
教 育 総 務 課 長	東端 久和
教 育 総 務 課 副 課 長	藪下 武史

[開 会]

委員長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

委員長 配布されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 会議録を承認する旨を告げる。

[教育長報告]

教育長 9月定例県議会における質疑概要について報告する。

これについては、特に質疑等はなく、

委員長 報告を了承する旨を告げる。

[議 事]

委員長 報告事項3を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《報告事項1 コンプライアンス推進のための「セルフチェックフレーズ」優秀作品選定
について》

委員長 報告を求める。

コンプライアンス推進室長 「セルフチェックフレーズ」選定の趣旨と選考結果を報告する。

〈質 疑〉

委員長：応募数が増え、意識が高まったとのことによりよいことである。審査を行った推進員本部とはどのような構成なのか。

コンプライアンス推進室長：教育長をはじめとする4役に、高校の校長等を加えた9名で構成されている。

水口委員：よい作品がたくさんあるので、現場で常時見えるところへ掲示するべきだと思うが、いかがか。

コンプライアンス推進室長：冬の推進週間において、各所属に掲示をしてもらうように依頼する予定である。

水口委員：推進週間だけではなく、一年を通じて目につくように掲示してはどうかか。

コンプライアンス推進室長：そのような対応をしていきたい。

西池委員：推進週間を設けて、アクセントをつけた活動をするのが大切だ。

取組を通じて意識が高まったと評価できる。応募数が増加したことの理由として「フレーズ」に変更したということのみでは、希薄である。

どういう仕掛けを作ったか、その結果どの程度コンプライアンス意識が高まったかの検証が必要だ。もうひとつは、事故を無くすということも大切だが、企業では、事故が無かった期間をプラス評価し、表彰したりしている。そういうシステムを教育に導入できないか。

西委員：うちの企業では、「ヒヤリ・ハット報告」を月に10件などと報告している。事故を防ぐためには、そのプロセスが大切である。

コンプライアンス推進室長：御意見を参考に、検討してまいりたい。

委員長：現場に届くように、検討をよろしく願いたい。

委員長 報告事項1を了承する旨を告げる。

《報告事項2 「コンプライアンスハンドブック ケース集Ⅲ」の作成について》

委員長 報告を求める。

コンプライアンス推進室長 ケース集Ⅲの内容について報告する。

〈質 疑〉

西池委員：どれくらい現場で活用されているのかを調査する方法はどのようなものがあるか。

コンプライアンス推進室長：「報告書」によって集計している。

西池委員：活用の度合いの数値を提示して欲しい。高止まりなのか、右肩上がりなのか。内容は充実してきているので、現場で十分に活用されているかどうかの検証が必要である。

水口委員：「ケース集Ⅲ」は教職員一人一人に配られるのか。

コンプライアンス推進室長：各所属に、電子メールで配付し、あとは所属で対応している。

委員長：ぜひ現場で活用されよう願いたい。

委員長 報告事項2を了承する旨を告げる。

[非公開]

《報告事項3 平成25年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査第2次審査の結果について》

(非公開につき、議事の内容については省略)

[閉 会]

委員長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前11時42分